

令和 7 年度
事業報告書および決算報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

一般社団法人 練馬区産業振興公社

一般社団法人練馬区産業振興公社の令和7年度事業報告および収支決算は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第123条第2項および「一般社団法人練馬区産業振興公社定款」第39条の規定に基づき、作成します。

目 次

I	法人概要および組織・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1	設立目的	
2	実施事業	
3	沿革	
4	基金	
5	組織体制	
II	令和7年度の事業の実施状況	
1	練馬区内の中小企業の経営支援および産業振興に関する事業・・・・・・・・	3
	（練馬ビジネスサポートセンター）	
(1)	相談事業	
(2)	セミナー事業	
(3)	補助金事業	
(4)	情報提供事業	
(5)	利用者アンケートの実施	
2	練馬区立区民・産業プラザの維持運営・・・・・・・・・・・・・・・・	11
(1)	利用状況	
(2)	利用促進の取組	
(3)	利用者向けサービス	
(4)	利用者アンケートの実施	

3 中小企業に働く勤労者および事業主のための福祉共済事業・・・・・・・・	16
--------------------------------------	----

(ねりまファミリーパック)

- (1) 生活充実事業
- (2) 健康増進事業
- (3) 自己啓発事業
- (4) 余暇活動事業
- (5) その他

4 地域経済活性化のための観光振興に関する事業・・・・・・・・	22
---------------------------------	----

(ねりま観光センター)

- (1) 観光振興事業
- (2) 観光案内所運営事業

5 社員総会および理事会の開催、監査の実施ならびに・・・・・・・・	30
-----------------------------------	----

共済事業運営委員会の開催

Ⅲ 令和7年度決算報告書

貸借対照表・・・・・・・・	34
---------------	----

正味財産増減計算書・・・・・・・・	35
-------------------	----

I 法人概要および組織

1 設立目的

練馬区の商業、工業、農業および観光の分野における産業振興に関する事業ならびに勤労者の福祉共済に関する事業を総合的に実施することにより、中小企業の経営の安定と発展に貢献し、もって区内産業の振興および地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

2 実施事業

設立目的を達成するため、以下の事業を行う。

- (1) 練馬区内の中小企業の経営支援および産業振興に関する事業
- (2) 地域経済活性化のための観光振興に関する事業
- (3) 地域経済活性化のための旅行業法に基づく旅行事業
- (4) 中小企業に働く勤労者および事業主のための福祉共済事業
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

3 沿革

- 昭和 54 年 2 月 24 日 「練馬区勤労者福祉共済会」として発足する。
- 平成 13 年 4 月 1 日 「練馬区勤労者福祉共済会」と「練馬区福祉公社」が統合し、「練馬区区民・勤労者福祉サービスセンター」とする。
- 平成 16 年 4 月 1 日 法人格を取得し、「有限責任中間法人ねりまファミリーパック」とする。
- 平成 21 年 4 月 1 日 法律の改正により、「一般社団法人ねりまファミリーパック」に名称変更
- 平成 25 年 4 月 1 日 法人改組により、「一般社団法人練馬区産業振興公社」とする。
- 平成 26 年 4 月 14 日 練馬区立区民・産業プラザの指定管理業務開始
練馬ビジネスサポートセンター開設
- 平成 29 年 4 月 1 日 ねりま観光センター開設
- 令和 3 年 4 月 1 日 ねりま・石神井観光案内所の指定管理業務開始
- 令和 5 年 4 月 6 日 ねりま観光センターの地域限定旅行業務開始

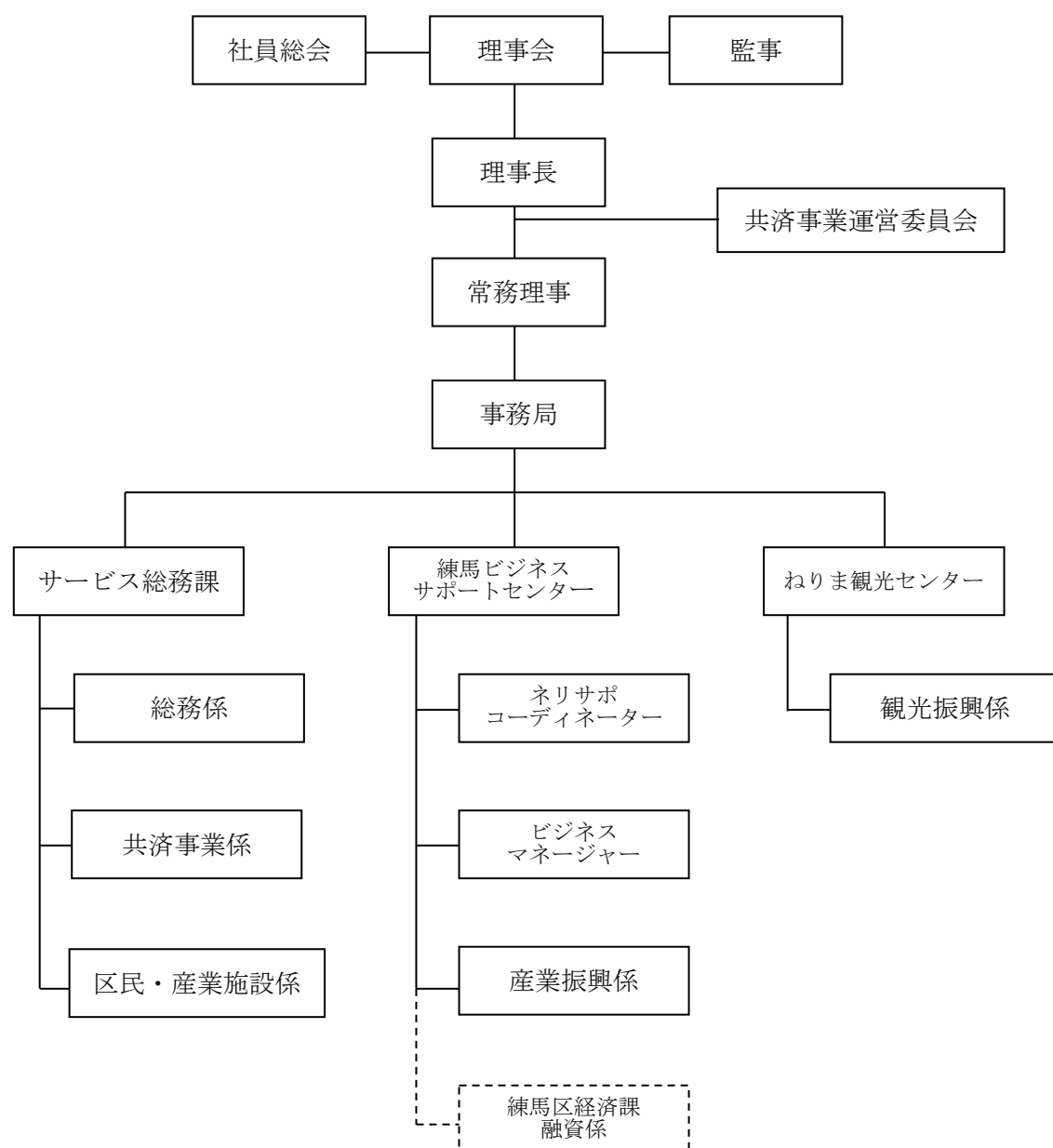
4 基金

9,050 万円（全額を練馬区が出資）

5 組織体制

一般社団法人練馬区産業振興公社 組織図

(令和8年1月1日現在)



社 員 5 団体

役 員 11 名(理事長 1 名、副理事長 1 名、常務理事 1 名、理事 6 名、監事 2 名)

職員数 30 名(常勤 25 名、非常勤等 3 名、ビジネスマネージャー 2 名)

Ⅱ 令和 7 年度の事業の実施状況

1 練馬区内の中小企業の経営支援および産業振興に関する事業(定款第 4 条第 1 号) (練馬ビジネスサポートセンター)

令和 7 年度事業費予算 138,277,000 円 実績 113,177,918 円 執行率 81.8%
(令和 6 年度実績 100,434,286 円)

練馬ビジネスサポートセンターは、区内の産業振興と経済の活性化を図るため、中小企業の経営支援と起業・創業の支援に関する事業に取り組んでいます。

令和 7 年度は、ブログアドバイザー枠の新設による販売促進・集客相談の充実、創業！ねりま塾のコース拡充、新規ビジネスチャレンジ補助事業の拡充、事業者 PR 支援の実施などさまざまな事業を充実し、経営者支援に取り組みました。

(1) 相談事業〔指定管理事業〕

相談チームによる「総合相談」および「起業・創業相談」は、昨年度の相談件数を超えて着実に成果をあげています。

販売促進・集客相談に新設したブログアドバイザー枠は、リピート利用もあり需要が伸びました。また、セミナーで相談事業の周知を行った結果、相談件数を伸ばすことができました。

「ワンストップ相談事業」は、効率的な運営を行うために実施回数を 10 回から 8 回に変更したことで、すべての回で受講率 100%を達成しました。

土曜日、日曜日に実施している合同経営相談会は、定員を満たしていません。需要を見極め、令和 8 年度は効率的な運営を行っていきます。

相談件数は増加傾向にありますが相談スペースに限りがあることから予約を受けられないケースもあります。令和 8 年度から開始する巡回相談により、更なる相談件数の増を目指していきます。

事業名		計画数	実施数	相談件数等	備考
総合相談		随時	随時	990 件	月曜～金曜
起業・創業相談		随時	随時	457 件	月曜～金曜
専門相談	法律	42 回	42 回	113 件	月曜午前 3 枠
	デジタルサポート	42 回	42 回	40 件	月曜午後 4 枠
	労務	49 回	49 回	78 件	火曜午後 4 枠
	販売促進・集客	50 回	50 回	207 件	水曜 7 枠
	経営全般	51 回	51 回	45 件	木曜午後 4 枠

	税務	100 回	99 回	285 件	火曜午前 4 枠 金曜午後 4 枠
ワンストップ相談		8 回	8 回	470 件	年間 8 ターム 各ターム、4 回の 講義と 2 回の個別 相談を実施
出張相談	総合、起業・創業、労務、販売促進・集客、経営、税務、デジタルサポート	42 回	39 回	39 件	総合 24 件 デジタルサポート 3 件、経営 2 件 税務 10 件
	企業診断、フォロー診断	70 回	33 回	33 件	融資企業診断 22 件、 融資フォロー診断 11 件
合同経営相談会	総合、起業・創業、労務、販売促進・集客、経営、税務、デジタルサポート、融資	2 回	2 回	51 件	5/17、10/5 総合 3 件、起業・創業 9 件、労務 3 件、経営 8 件、税務 9 件、デジタルサポート 9 件、融資 10 件
経営支援会議		12 回	2 回	2 回	相談員相互による調整
合 計		468 回 (471 回)	417 回 (399 回)	2 回 (3 回) 2,808 件 (2,634 件)	

※ ()内は令和 6 年度実績

※ 合同経営相談会は、株式会社日本政策金融公庫池袋支店、公益社団法人練馬西法人会との共催事業として実施。

(2) セミナー事業 [補助金事業]

各セミナーは、会場開催とオンラインとの 2 方式で実施し、参加希望者が自身の状況に合った参加方法を選択できるよう運営しています。

起業セミナーは、創業の準備段階に応じたコース(入門編・一般編・実践編)を年 2 回に拡充しました。若者編は学校の夏休み後半に設定したことから、集客に苦慮しました。次年度は参加が見込める時期に変更し、受講者増を図っていきます。応用編は講師と受講生双方のコミュニケーションを重視するゼミ形式に変更して実施しました。その結果、受講者の 9 割がアンケートに、起業コンセプトの完成または精度を高めることができたと回答しています。全コースの満足度は 95.9%となっています。入門編・基礎編(一般編)は、動画配信も行っており、動画視聴回数はそれぞれ 97 回、278 回となっています。

ビジネスプランコンテストは起業セミナーと切り離し、実践編受講者に加え、ワンストップ相談事業の受講者も対象とすることで、起業に向けた意欲的な層

を幅広く取り込み、コンテストのさらなる活性化と質の向上を図りました。

今回は新たな取組みとして、オーディエンス賞を導入し、参加者と審査員とが一体となれる事業としました。同日の午後には、創業者交流会を開催し、トークセッションや名刺交換により、新たなビジネスチャンスの場とすることができました。アンケートでは満足度 100%となり、非常に高い評価を得ました。

経営者セミナーは、今年度の年間テーマを「コスト高・賃上げ時代の経営者思考と業績向上策を学ぶ」とし、8つのセミナーを実施した結果、受講者満足度 83.5%となっています。全体では好評を得ている一方、生産性向上を目的とする生成 AI 活用のセミナーのアンケートでは満足度が 70%を下回りました。具体事例の紹介など講義内容の深掘りを求める意見がありました。令和 8 年度は、寄せられた意見を踏まえ、講義の内容を工夫していきます。

事業名			計画数	実施数	受講人数 視聴回数	備考
起業セミナー 創業！ねりま塾	入門編		2 回	2 回 動画配信	47 人 43 人 97 回	4/26(会場) 9/27(会場)
	基礎編	一般編	2 回	2 回 動画配信	44 人 16 人 38 人 278 回	5/10(会場) 5/14(オンライン) 10/11(会場)
		女性編	1 回	1 回	42 人 16 人	6/7(会場) 6/11(オンライン)
		若者編	1 回	1 回	12 人	9/6(会場)
	応用編		4 回	4 回	6 人 6 人 6 人 6 人	5/22(会場) 6/26(会場) 10/23(会場) 11/20(会場)
	実践編		2 回	2 回	28 人 30 人	6/28、7/5 12、19、26 1/17、24、31 2/7、14
	ビジネスプランコンテスト			1 回	1 回	14 人
創業者交流会			1 回	1 回	32 人	2/28(会場)
経営者セミナー	生成 AI: YouTube 活用 (DX)		8 回	1 回	会場 21 人 オンライン 43 人	5/22
	補助金活用			1 回	会場 21 人 オンライン 15 人	6/26
	生成 AI: 生産性向上 (DX)			1 回	会場 21 人 オンライン 36 人	7/24
	商談会活用			1 回	会場 12 人 オンライン 10 人	9/18

経営者セミナー	販売促進		1 回	会場 18 人 オンライン 16 人	10/23
	人材育成		1 回	会場 12 人 オンライン 14 人	11/20
	資金繰り		1 回	会場 18 人 オンライン 22 人	1/22
	事業承継		1 回	会場 13 人 オンライン 12 人	2/26
合 計		22 回 (16回)	22 回 (16回)	690 人 (753 人)	

※ ()内は令和6年度実績

※ 創業！ねりま塾は、東京商工会議所練馬支部、みずほ銀行、西京信用金庫、芝信用金庫、城北信用金庫、巣鴨信用金庫、西武信用金庫および東京信用金庫との共催事業として実施。

(3) 補助金事業 [補助金事業]

7種類の補助事業の交付数は、前年度と比較すると増加傾向にあります。特に見本市等出展費用補助事業の申請数は計画数を大きく上回りましたが、経費を工夫し、申請したすべての事業者に交付することができました。この傾向は販路を拡大する動きが活性化していると推察してします。また、年2回に拡充した「新規ビジネスチャレンジ補助事業」は、交付決定予定数30件に対して83件の申請があり、新たなチャレンジを望む事業者は増加傾向となっています。令和7年度はバー経営者が新たにカレーを提供したり、お酒を温める機械を製造する企業がペット用冷凍餌解凍機の開発に着手したりと幅広い分野での挑戦が見られました。採択決定後は事業計画の策定・実行を伴走して支援していきます。

引き続き、各種補助事業の活用を促すため、機会を捉えて情報発信を行っていきます。

事 業 名	計画数	交付決定数	備 考
ホームページ作成費補助事業	35 件	24 件	補助率：1/2 限度額：5万円
各種認証等取得支援費補助事業	2 件	4 件	補助率：1/3 限度額：50万円
見本市等出展費用補助事業	15 件 1 団体	20 件 0 団体	補助率：1/2 限度額：10万円
産業財産権取得費補助事業	8 件	8 件	補助率：1/2 限度額：10万円

商店街空き店舗入居促進補助事業	20 件	9 件 ※採択件数	【店舗改修費】 補助率： 区内改修事業者への発注 2/3 区外改修事業者への発注 1/2 限度額：100 万円 【店舗賃借料】 補助率：2/3 限度額：補助開始月の経過月数に応じて、2～5 万円 【経営サポート】 出張相談員(中小企業診断士)が事業開始後、3、6、9、15、24、36 月目に実施
新規ビジネスチャレンジ補助事業	30 件	30 件 ※採択件数	補助率：2/3 限度額：100 万円 【経営サポート】 出張相談員(中小企業診断士)が事業開始後、2 年間で 3 回実施
専門家派遣費補助事業 (都の専門家派遣費一部補助)	15 件	1 件	補助額：1 万円(派遣 1 回当たり) 限度額：3 万円(年度内 3 回まで)
合 計	125 件 (139件)	96 件 (64 件)	

※ ()内は令和 6 年度実績

(4) 情報提供事業 [補助金事業]

① 産業情報紙 neri・made の編集・発行

季刊紙として年 4 回、各回 8,000 部を発行しました。4 月号「次世代につながる事業承継」、7 月号「仕事と介護の両立支援」、11 月号「賃金アップ大作戦」、3 月号「お客様がファンになる接客のコツ」をそれぞれ特集し、区内商店街、業種別商工団体、区立施設、区内・近隣の金融機関等で配布・配架しました。

区内事業者の体験・事例や中小企業診断士によるポイントをまとめたアドバイスなど、区内中小企業経営の改善や発展の一助となるよう情報発信に取り組みました。

紙媒体に加え、オンラインでの配信も行いました。オンライン限定特集記事では、4 月「後継者による第二創業」、6 月「新規開拓の秘訣」、8 月「従業員コミュニケーション術」、12 月「資金繰りを学ぼう！ お金の苦労を減少させる心得帖」をそれぞれ配信しました。ほかにもネリサポの中小企業診断士による区内事業者のインタビュー記事、アニメーションなどを発信しました。インターネットの普及に伴い、オンライン活用の有効性が高まっています。あわせてペーパーレス化による業務効率化も見込めることから、今後もさらなる創意工夫を取り入れていきます。

記 事 名	計画数	実施数	視聴回数	備 考
起業家インタビュー	4 回	4 回	950 回	4/1、7/1、11/1、2/28 から配信
さぽっとくんと学ぼう！	4 回	4 回	240 回	4/1、7/1、11/1、2/28 から配信
オンライン限定特集記事	4 件	4 件	539 回	4/23、6/13、8/22、12/16 公開
中小企業診断士による区内事業者インタビュー記事	12 件	12 件	1,904 回	4/23、5/30、7/30、8/28 公開
合 計	8 回 (6 回) 16件 (12件)	8 回 (6 回) 16件 (12件)	3,633回 (8,254回)	

※ ()内は令和 6 年度実績

※ neri・made オンライン版の配信は令和 6 年度から開始。

② 中小企業の景況

四半期ごとに一般社団法人東京都信用金庫協会が実施する「都内中小企業景況調査」の練馬区データを購入・編集し「練馬区中小企業の景況」として、ホームページ上に掲載しダウンロードもできるようにしています。この「練馬区中小企業の景況」は、練馬区内の業種別にもまとめており、業種別の景気動向を知る上で貴重な情報源となっています。

③ 事業者支援サイト

区内事業者が主体的に自社の PR 活動ができる場を提供するとともに、いつでもどこでも気軽に経営を学ぶことができるポータルサイト「ねりさぽビジネスラボ」を令和 6 年度からリニューアルし、事業者役に役立つコンテンツを 1 つにまとめた「ねりま PR チャンネル」を運営しています。

ねりま PR チャンネルは、テキストコンテンツ 19 回、動画コンテンツ 6 回の投稿がありました。特に動画に関しては、練馬区の情報発信支援事業を通じて制作された 4 本も含まれており、区の支援施策を効果的に活用した情報を発信しています。引き続き周知するとともに、販売促進相談等の相談業務との連携を含め、サイトの活性化を図っていきます。

15 分動画セミナーは、年間 12 回配信しました。雇用契約や生成 AI をテーマとした動画の視聴回数が多いことから、ニーズに沿った情報発信ができたと考えています。

事業名		計画数	実施数	視聴回数	備考
ねりま PR チャンネル(テキストコンテンツ)		随時	19 回	979 回	随時配信
ねりま PR チャンネル(動画コンテンツ)		随時	6 回	593 回	随時配信
15 分動画 セミナー	損益計画と資金計画	12 回	1 回	101 回	7/9 から配信
	生成 AI×市場調査		1 回	181 回	7/15 から配信
	ブログ記事		1 回	79 回	8/1 から配信
	生成 AI × 売上利益計画		1 回	109 回	9/26 から配信
	雇用契約書・労働条件通知書		1 回	615 回	10/23 から配信
	社会保険と労働保険の手続		1 回	134 回	11/26 から配信
	固定残業制度・労働時間管理		1 回	105 回	12/26 から配信
	小さな事業者のためのメディア&プロモーションミックス		1 回	89 回	2/3 から配信
	商品陳列の基礎		1 回	90 回	2/5 から配信
	商品陳列 色の並べ方		1 回	96 回	2/12 から配信
	生成 AI ビジネスアイデア		1 回	220 回	3/26 から配信
	小さな事業者のためのターゲティング		1 回	6 回	3/30 から配信
経営ミニコラム		随時	51 回	3, 152 回	随時配信
練馬区 中小企業景況		4 回	4 回	130 回	5/21、8/15、10/31、2/5
合 計		16回 (12回)	92回 (40回)	6, 679回 (5, 481回)	

※ ()内は令和6年度実績

(5) 利用者アンケートの実施（概要、詳細はホームページで公表中）

練馬ビジネスサポートセンターの機能充実と認知度向上への取り組みを強化するため、毎年度同じ時期にアンケート調査を実施しています。

実施期間

令和8年1月23日から2月23日まで（32日間）

実施方法

令和7年4月から12月までの期間に練馬ビジネスサポートセンターの相談事業（総合・専門）を利用した方に任意でオンラインで回答する方法により実施しました。

回答数

198件（前年度134件）

実施結果

相談に対する満足度

相談内容に対する評価を質問したところ、「大変満足」、「満足」とする回答が85.9%（前年度82.8%）でした。

全体の接遇

ネリサポ職員の接遇について評価を求めたところ、「とても良かった」、「良かった」の評価が80.8%（前年度91.1%）でした。数値が低下した要因としては、人事異動や退職に伴い新規職員が増加したことで、年度当初の利用者対応が十分に行き届かなかったためと推察されます。利用者アンケートの結果は当センター内で共有し、組織全体で接遇意識の向上に努めます。

2 練馬区立区民・産業プラザの維持運営(定款第4条第1号)

令和7年度事業費予算 112,820,000 円 実績 109,263,597 円 執行率 96.8%
(令和6年度実績 96,924,279 円) [指定管理事業]

練馬区立区民・産業プラザ（以下「プラザ」という。）の指定管理者（3期5年目）として、施設の運営・維持管理を行いました。

令和7年度は、令和8年7月から本稼働する新施設予約システム（以下「新システム」という。）導入に向けて準備を行い、10月からは利用者登録、1月からは施設の申込みの受付を開始しました。良好な施設環境の維持に向けた取組としては、「練馬区立区民・産業プラザ指定管理4期修繕・更新計画」を区と協議し策定しました。

(1) 利用状況

① 利用者登録件数 3,355 件

登録数は、193 件 前年度と比べ 11 件の減となりました。

② 利用時間数、利用率

利用率は、72.0%で、前年度と比べ 2.1 ポイントの増となりました。

施設名		利用可能延時間(h)	利用時間 (h)					利用延時間 (h)	利用率 (%)
			通常	減額	免除	公用等	計		
研修室 1	全面	9,309	708	723	199	1,250	2,880	6,741	72.4
	1/2(東側)		187	72	243	19	521		
	1/2(西側)		238	54	156	12	460		
研修室 2	全面	9,313	824	303	219	660	2,006	5,952	63.9
	1/2(東側)		596	225	140	29	990		
	1/2(西側)		503	119	302	26	950		
研修室 3		4,632	1,612	618	509	587	3,326	3,326	71.8
研修室 4		4,636	1,835	424	439	492	3,190	3,190	68.8
研修室 5		4,611	1,928	430	487	376	3,221	3,221	69.9
産業イベントコーナー		4,511	2,743	221	351	0	3,315	3,315	73.5
ホール	全面	11,674	1,248	405	962	106	2,721	9,787	83.8
	2/3(東側+中央)		70	3	0	0	73		
	2/3(西側+中央)		207	43	61	13	324		
	1/3(東側)		155	45	219	11	430		
	1/3(中央)		15	13	32	0	60		

	1/3(西側)		152	35	149	4	340		
多目的室	全面	9,327	564	116	929	177	1,786	6,251	67.0
	1		844	122	385	59	1,410		
	2		916	172	119	62	1,269		
合 計		58,013 (57,742)	15,345 (14,533)	4,143 (3,832)	5,901 (6,459)	3,883 (3,231)	29,272 (28,055)	41,783 (40,355)	72.0 (69.9)

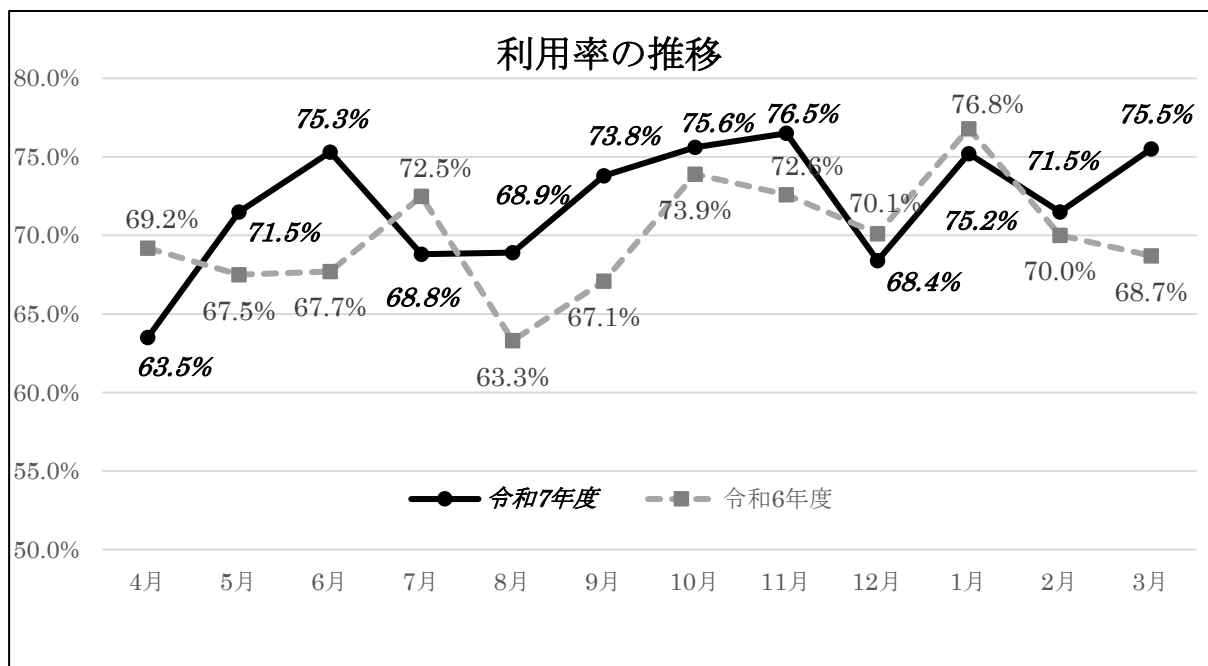
※ ()内は令和6年度実績

※1 1日の利用可能時間は、研修室・産業イベントコーナー・多目的室は13時間、ホールは12時から13時までおよび17時から18時までの枠間の時間を除く11時間。

※2 研修室1・2 および多目的室の利用可能延時間および利用延時間は、全て半面を利用したものとして換算した時間数。

※3 ホールの利用可能延時間および利用延時間は、全て1/3面を利用したものとして換算した時間数。

③ 月別利用率の推移



④ 利用料金収入

利用料金収入は、約3,660万円で前年度と比べ約330万円の増となりました。

(単位：円)

施 設 名		利 用 料 金		
		施設使用料	備品使用料	合 計
研修室 1	全面	1,699,350	539,550	2,238,900
	1/2(東側)	182,000	7,350	189,350
	1/2(西側)	242,100	16,800	258,900
研修室 2	全面	870,600	42,500	913,100
	1/2(東側)	223,300	2,500	225,800
	1/2(西側)	355,200	12,750	367,950
研修室 3		970,300	40,700	1,011,000
研修室 4		1,075,650	29,700	1,105,350
研修室 5		1,101,750	34,100	1,135,850
産業イベントコーナー		6,891,400	573,000	7,464,400
ホー ル	全面	15,960,280	917,250	16,877,530
	2/3(東側+中央)	636,700	62,100	698,800
	2/3(西側+中央)	1,550,780	168,350	1,719,130
	1/3(東側)	734,300	49,850	784,150
	1/3(中央)	59,000	3,350	62,350
	1/3(西側)	803,950	106,200	910,150
多 目 的 室	全面	242,000	8,200	250,200
	1	180,500	2,650	183,150
	2	200,100	4,100	204,200
合 計		33,979,260 (30,826,920)	2,621,000 (2,496,900)	36,600,260 (33,323,820)

※ ()内は令和6年度実績

⑤ 施設全体の月別利用料金収入の推移



(2) 利用促進の取組

各種媒体による広告やイベントへの出展等により、プラザの特長や利用方法を紹介し、施設のPRを行いました。

事業名	実施日	備 考
動画放映	常時	ココネリ館内サイネージやHPでプラザ紹介の動画を放映しました。
広告掲載	3回 (10・11・3月)	ネリサポ産業情報紙やファミリーパック会報誌にプラザ紹介の広告を掲載しました。
練馬産業見本市	10月19日(日)	開催場所がプラザということを生かし、出展・来場する区内事業者等実際に施設を見せながら利用方法を案内しました。 来場者 約 5,100 人
産業振興公社イベント	3月14日(土)	関係各所と連携した公社イベントを開催し、イベントの提供を通じて利用方法を提案しました。 来場者 約 1,500 人

(3) 利用者向けサービス

施設利用の利便性の向上を図るため各種サービスを行いました。

事業名	実 績
ケータリング等提携サービス事業者パンフレット配布	登録事業者数 9社(うち区内事業者 6社) パンフレット作成・配付 1,000 部 利用件数 49 件(前年度比 16 件増)
自動販売機の設置(3・4F)	販売本数 24,303 本(前年度比 1,160 本減) 手数料収入 125 万円(前年度比5万円減)
廃棄物の有料処理	処分件数 可燃ごみ 285 件(45 リットルごみ袋 1 枚 500 円) 不燃ごみ 220 件(45 リットルごみ袋 1 枚 600 円) (前年度比 可燃ごみ 81 件増、不燃ごみ 57 件増)

(4) 利用者アンケートの実施

プラザの利用者を対象に、施設を利用した満足度等を把握するため、アンケート調査を実施しました。調査結果は、サービスの向上に生かしていきます。

実施期間

令和8年1月23日(金)から2月23日(月)まで(32日間)

実施方法

利用受付時にアンケート用紙を配布し、利用終了後に回収ボックスへ投函、またはオンラインで回答する方法により実施しました。

回答数

199 件(前年度 165 件)

実施結果

施設や備品等の清潔さについての質問に対して、大変良い・良いを選択した割合が 86.3%、職員の対応では、大変良い・良いの割合が 86.3%、プラザを利用しての満足度では、大変満足・満足の割合が 88.5%と、昨年度と同様に高い評価を得ました。

アンケートの集計結果は、区民・産業プラザのホームページに掲示しています。

3 中小企業に働く勤労者および事業主のための福祉共済事業(定款第4条第4号)
(ねりまファミリーパック)

令和7年度事業費予算 175,961,000 円 実績 169,132,399 円 執行率 96.1%
(令和6年度実績 178,785,511 円) [自主事業]

ねりまファミリーパックは、中小企業に働く勤労者と事業主のために安価で良質な福利厚生事業を提供することによって、勤労者には生活の潤いを提供し、事業主には経営の安定と発展を支援していくことが役割です。

多彩な事業を実施するには、一定規模の会員数を維持することが必要です。平成25年以降、長期にわたり会員数が減少しており、斬新な改善策の導入が急務でした。そこで、新たに「入会促進活動方針」を策定し、会員数の最終目標を区内中小企業就業者の10%とし、中期目標として、令和12年度末までに会員数1万人の達成を目指すこととしました。その結果、今年度は新規の入会が、事業所数53所、270人(前年度30所、43人)ありました。

地域密着型事業の会員飲食店と連携した「ごはん&スイーツ補助」では、事業所訪問による勧誘を強化した結果、参加店舗数は51店舗(目標44店舗)に拡大しました。

例年実施しているWEB会員アンケートでは、サービス内容について90.2%が「満足」と回答しており、事業に対する高い評価が得られています。

会員ニーズに即したサービスを提供するとともに、ねりま観光センターとの連携事業や区内農産物の収穫体験補助など、地域密着型事業を一層推進していきます。

〈事業所・世帯数と会員数〉

会員総数は、前年度末と比較して、事業会員は36人、個人会員は221人減少し、総計では257人減少し、8,538人となりました。

		令和8年3月末	令和7年3月末	令和6年3月末
会員数 ()内は構成比 単位：人	総 数	8,538 (100%)	8,795 (100%)	9,185 (100%)
	事業所	5,381 (63.0%)	5,417 (61.6%)	5,611 (61.1%)
	個 人	3,157 (37.0%)	3,378 (38.4%)	3,574 (38.9%)
事業所/世帯数 単位：事業所 世帯	総 数	4,340	4,594	4,837
	事業所	1,377	1,424	1,474
	世帯数	2,963	3,170	3,363

〈各事業の実施状況〉

実績数の合計は前年度末と比較して2,488人減少し、達成率も1.9ポイント下回りました。

減少の理由は、生活充実事業が会員数減少の影響を大きく受けたため、達成率が86.2%にとどまったことによるものです。

一方、自己啓発事業は、展覧会や映画鑑賞券あっせんで人気作品があったことで実績数が増加しました。

事業名	計画数A	実績数B	達成率B/A
(1)生活充実事業	48,890人	42,156人	86.2%
(2)健康増進事業	18,270人	16,905人	92.5%
(3)自己啓発事業	10,420人	11,141人	106.9%
(4)余暇活動事業	11,780人	11,062人	93.9%
合 計	89,360人 (90,260人)	81,264人 (83,743人)	90.9% (92.8%)

※ ()内は令和6年度実績

※ 「計画数」、「実績数」は、給付金の支給や予防接種費用補助の対象者の見込み数、講座、セミナーの募集人数などの他、各種チケットの販売枚数や利用補助券の配付枚数などを人数に換算して事業ごとに合計したもの。

(1) 生活充実事業

① 給付事業(計画数1,300件 実績数1,041件 達成率80.1%(97.5%))

会員への祝意や弔意等を示すため、祝金・見舞金・弔慰金を支給しました。

② 生活充実事業

ア 老後生活安定事業

中小企業退職金共済制度(中小企業勤労者等が明るく健やかな老後生活を送るための制度)の紹介を会報8・9月号および12・1月号に掲載し、パンフレットを窓口に配架しました。

イ 財産形成事業

中央労働金庫の教育ローンや各種ローンの案内を会報8・9月号および12・1月号に掲載しました。

ウ 講演会の開催

事業名	計画数	実績数
暮らしに役立つ講演会 「終活セミナーと個別相談会」 令和8年1月24日(土)	50人	28人

エ 各種チケットあっせん等

事業名	計画数	実績数
区内共通商品券あっせん	4,000人	3,805人
ジェフグルメカードあっせん	3,500人	3,231人
生活関連カードあっせん	2,600人	2,154人
食事券あっせん	2,580人	1,679人
レストラン利用補助	3,360人	2,910人
創立記念事業補助	250人	41人 (4社)
地域振興生活活性補助	27,000人	23,211人
①ブルーベリー補助	① 4,000人	① 2,437人
②ごはん&スイーツ補助	②19,000人	②19,297人
③べじかるファーム野菜収穫体験補助	③ 4,000人	③ 1,477人
特別企画チケットあっせん(物販含む)	4,250人	4,056人
計 達成率 86.4% (94.6%)	47,540人 (44,460人)	41,087人 (42,066人)

※ ()内は令和6年度実績

実績数の合計は前年度末と比較して979人減少し、達成率も8.2ポイント下回りました。

減少の理由は、地域振興生活活性補助のブルーベリー補助が、補助券の利用枚数を実績値としているため、券種を3枚(@200)から2枚(@300)に仕様を変更したことによるものです。

(2) 健康増進事業

① 健康関連施設のチケットあっせん

事業名	計画数	実績数
スポーツクラブチケットあっせん	1,100人	835人
日帰り温泉チケットあっせん	12,230人	11,411人
計 達成率 91.9% (99.1%)	13,330人 (13,860人)	12,246人 (13,736人)

※ ()内は令和6年度実績

実績数の合計は前年度末と比較して1,490人減少し、達成率も7.2ポイント下回りました。

② 健康保持サービスの利用補助

事業名	計画数	実績数
人間ドック・脳ドック利用補助	140人	147人
定期健康診断経費補助	2,300人	2,356人
予防接種費用補助	2,500人	2,156人
計 達成率 94.3% (94.3%)	4,940人 (4,940人)	4,659人 (4,656人)

※ ()内は令和6年度実績

(3) 自己啓発事業

① 文化・教養活動のあっせん・補助

事業名	計画数	実績数
観劇・コンサート等チケットあっせん	900人	1,018人
観劇・コンサート等チケット利用補助	120人	57人
展覧会等チケットあっせん	1,600人	1,917人
図書カードあっせん	800人	941人
映画鑑賞券あっせん	6,100人	6,284人
映画館のメンバーズカード手数料補助	700人	755人
計 達成率 107.4% (81.0%)	10,220人 (12,470人)	10,972人 (10,103人)

※ ()内は令和6年度実績

実績数の合計は前年度末と比較して869人増加し、達成率も26.4ポイント上回りました。

増加の理由は、展覧会や映画鑑賞券で人気作品があったことによるものです。

② 生涯学習のための講座の実施等

事業名	計画数	実績数
講座利用補助	30人	6人
講座割引	60人	55人
趣味と教養の講座	110人	108人
計 達成率 84.5% (75.7%)	200人 (210人)	169人 (159人)

※ ()内は令和6年度実績

趣味と教養の講座では、「クリスマス苔玉の作り方」など3回実施しました。

(4) 余暇活動事業

① 旅行事業

事業名	計画数	実績数
トラベル利用補助(パッケージツアー等)	680人	439人
計 達成率 64.6% (53.0%)	680人 (800人)	439人 (424人)

※ ()内は令和6年度実績

② 遊園地等利用補助

事業名	計画数	実績数
東京ドームシティ得10チケットあっせん	800人	494人
東武動物公園チケットあっせん	700人	829人
スポーツ観戦チケットあっせん	900人	779人
大相撲観戦チケットあっせん	200人	180人
サンシャインチケットあっせん	2,000人	1,730人
特別企画チケットあっせん	3,700人	3,716人
東京ディズニーリゾート利用補助	2,800人	2,895人
計 達成率 95.7% (93.0%)	11,100人 (12,150人)	10,623人 (11,296人)

※ ()内は令和6年度実績

実績数の合計は、前年度末と比較して673人減少したものの、達成率は2.7ポイント上回りました。

東武動物公園のチケットは、今年度はプールも利用可能となったことから、実績数の増加につながりました。

(5) その他

① 会員証提示による割引等の事業

ア 会員証提示による割引・割引券等の配布

会員証の提示により契約した区内飲食店などで割引等の特典が受けられます。施設割引券等は、WEB会員専用ページからダウンロードができるようにするとともに、自由に持ち帰れるように窓口にも配架しました。

イ 一般社団法人 全国中小企業勤労者福祉サービスセンター(略称：全福センター)の紹介

全国にある各サービスセンターの活動をサポートしている組織である全福センターに加盟し、全国で約92,000か所の施設やサービスを会員に提供しています。利用方法等は、WEB会員専用ページや令和8・9年度版ガイドブックで周知しているほか、先着順で全福ネットガイドブックを無料で配布しています。

② 会員との情報の受発信

会報を年6回発行したほか、ホームページ、Instagram、Xにおいて事業やサービスの案内および活動状況を周知しています。

お得な最新情報を届けるため前年度に開設した Instagram のフォロワー数は、プレゼント企画などにより前年度末の 251 人から 640 人に増加しました。

今後も SNS やホームページを最大限に活用して最新の情報を発信し、サービス向上に努めていきます。

③ 会員の加入促進

年2回の会員加入促進キャンペーンでは、会員紹介制度の PR や区内事業所へのポスティングの実施により、期間中の入会者は追加入会を含め 294 人となり、前年度と比較して 36 人増加しました。

給付事業の在会 30 年祝金のほか、15 年、20 年、25 年の会員を対象にした在会謝礼制度では、634 人に「在会謝礼クーポン 3,000 円」を進呈しました。

④ Web 会員アンケートの実施

よりよいサービスを提供し会員満足度を向上していくため、Web 会員に対しオンラインで回答する方法により実施しました。

実施期間

令和8年1月26日（月）から2月28日（土）まで（34日間）

実施方法

ねりまファミリーパック HP 会員専用ページから入力して回答

特典

回答いただいた会員の中から抽選で 100 名にマックカード 500 円分プレゼント

回答数

609 件（前年度 348 件）

実施結果

サービスの満足度

ねりまファミリーパックのサービスに対する満足度調査では、「大変満足」、「満足」、「どちらかと言えば満足」とする回答が 90%以上でした。

4 地域経済活性化のための観光振興に関する事業(定款第4条第2号および第3号)
(ねりま観光センター)

令和7年度事業費予算 74,135,000 円 実績 71,788,816 円 執行率 96.8%
(令和6年度実績 77,914,472 円)

ねりま観光センターは、観光による地域経済の活性化を図るため、民間ならではの柔軟な発想とノウハウを活用してさまざまな観光振興事業を展開しています。

令和7年度は、ねりまのオススメ商品コレクション「ねりコレ2026」を募集し認定しました。商品の募集をWEBに限定し、SNS(X・Instagram)を活用した広報など手法のデジタル化を進めたことが功を奏し、応募総数は約400件と当初の目標300件を大きく上回る反響がありました。

観光ツアーは、区内事業者やボランティアガイドの会等と連携し、ツアーに付加価値をつけ、区の魅力を再発見するツアーを企画・催行しました。例年開催し好評を得ているキウイ狩りや練馬大根収穫ツアーに加え、NEXCO 東日本と白子川調節池見学ツアーやねりコレ店のプロの技を学べるクッキー作り体験などねりま観光センターならではのツアーを催行しました。

(1) 観光振興事業

① 観光商品の開発・支援および区内経済振興に関する事業

ア ねりコレ事業〔補助金事業〕

ねりコレ2026の募集・認定にあたっては、ねりコレ2024と同様に、お土産部門とメニュー部門の2部門で募集しました。ねりコレ2026からWEBによる応募に限定し、二次元バーコードから短時間で簡単に応募できる仕組みを導入しました。区報やホームページで事業を周知するとともに、協力店舗におけるカード型チラシの配架、Yahoo!、XやInstagramといったSNSにもアドネットワーク広告を掲載し、より広い層への応募促進に努めました。商品応募数は396件で目標件数(300件)をゆうに超え、達成率は132%でした。

メニュー部門の投票もWEBで実施しました。スマートフォンで気軽に参加できることから投票数は3,210票と前回の投票数(1,007票)の約3倍となりました。

令和5年12月からオンラインショップでねりコレ詰合せを販売しましたが需要が見込めないことから令和7年度末で終了しました。

事業名	概要	実施 (予定含む)
ねりコレ 2026の 選定	認定商品募集	6月2日～ 7月31日
	WEB投票【メニュー部門】 ※練馬まつり(10/19)全国都市農業フェスティバル (11/15・16)にて投票プロモーション活動実施	10月1日～ 11月30日

ねりコレ 2026の 選定	外部審査員（５名）と区民代表者（５名）による実 食審査【お土産部門】	11月4日 11月5日
	ねりコレ2026・WEB発表	令和8年4月 2日・3日 (区報5月21 日)
	ねりコレ2026即売会	令和8年5月 23日・24日
通信販売	ねりま観光センターオンラインショップ（Yahoo!シ ョッピング内）で販売	～3月31日

部門	PR方法	カテゴリー	選定数
お土産部門	ねりま観光センター ホームページ・冊子	お菓子	31
		食品	30
	計		61
メニュー部門	ねりま観光センター ホームページ 三つ折りマップ	飲食店のメニュー	27
	計		27
合計			88

イ 観光商品の開発〔自主事業〕

練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」を使用したグッズは売れ筋商品
を分析し企画・開発をメンバー主導で行っています。

事業名	時期	実施	概要
ねり丸グッズ の販売	随時	4月～9月	再販品の増産 ボールペン、自由帳、ネクストラップ、 メモ帳、クリアファイル、アクリルキーホ ルダー
		10月～3月	新商品の開発 ねり丸ガチャ用商品（マグカップ、クッシ ョンロール付箋、目印チャーム、手提げ袋 再販品の増産 コースター、ぬいぐるみストラップ、シー ル、スクエアマグネット、アクリルキーホ ルダー、ボールペン、シャープペン

② 観光情報の発信に関する事業 [補助金事業]

ア ホームページ・SNS

観光情報ウェブサイト「とっておきの練馬」において、区内の観光スポットやイベント、グルメ情報など、練馬区の魅力を発信しています。令和3年11月からは、Google AdSenseによるサイトの収益化を図っています。

【ホームページ年間PV数】

	令和6年度	令和7年度
PV数(4月～9月)	584,571件	651,388件
PV数(4月～3月)	1,109,316件	1,205,396件

(参考)

年度	PV数
令和5年度	1,134,576件
令和4年度	1,060,589件
令和3年度	903,801件

【Google AdSense(第三者広告配信収益)】

令和7年度 170,451円

ねりま観光センターX(旧 Twitter)および Instagram により、旬の観光情報をリアルタイムに発信しています。X のフォロワー数は、7,880 人(2017 年開始時は3,816人)であり、Instagramのフォロワー数は、4,498人(2020年開始時は972人)です。

イ マップ・冊子発行

事業名	発行日	概要
練馬カプセル	9月26日	「心をちょっと豊かに、心の栄養補給」をコンセプトに練馬の新しい視点での楽しみ方を提案。カプセル型のカード。第13弾5種類を発行。 【発行部数】5,000部(5種類×1,000部) 【配布場所】観光案内所、掲載店など
お花見散歩マップ	2月20日	区内の桜や季節の花を楽しめる6つのお花見コースを掲載したマップ。情報を一部更新し発行。 【発行部数】29,000部
観光ガイドマップ	3月31日 多言語版 5月発行	地域の観光スポットを掲載したマップ。情報を一部更新し発行。 【発行部数】日本語 25,000部 英語 2,000部 中国語(簡)1,500部 中国語(繁)1,500部 韓国語 1,500部

ウ 京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）2025 出品【追加】

（実施日：9月20日、21日 場所：みやこめっせ・ロームシアター京都）

西武鉄道株式会社からイベント出展における物販品等の提供依頼があり、「四月は君の嘘」パンフレット（日・英）の配布とクリアファイルの販売を実施しました。

エ Animejapan 2026 出品【追加】

（実施日：3月28日、29日 場所：東京ビッグサイト）

西武鉄道株式会社からイベント出展における物販品等の提供依頼があり、「四月は君の嘘」パンフレット（日・英）およびオリジナルステッカーの配布（2種計800枚）とねり丸グッズの販売を実施しました。

③ 体験・参加型事業[補助金事業]

みどりをテーマとした散策、収穫体験や産業（伝統工芸、映像・文化）など、ねりまの魅力を再発見する観光ツアーを企画、実施しています。

事業名	時期	計画数	実施数		概要
ねりま観光ツアー	随時	25本	30本	(上半期) 12本 (下半期) 18本	参加・体験型のツアーを企画

（上半期実施）

上半期は、全12本のツアーを企画し、催行しました。ボランティアガイドの会やみどりのまちづくりセンター、ねりコレ店と協働することで、各団体が持つノウハウを活用した企画がツアーの付加価値となり、満足度の高いツアーを提供しました。

そのほか、公社内の連携事業として、ねりまファミリーパック会員向けの観光センター企画ツアーを1本実施しました。

（下半期実施）

下半期は、全19本のツアーを企画し、18本催行しました。催行人数に満たず中止になったツアー（1本）は、別日の同ツアーをご案内し可能な限り希望に添えるよう努めました。新企画のインフラ事業を見学するツアーは特に人気が高く、参加したお客様の満足度が高い結果となりました。

下半期もねりまファミリーパック会員向けの観光センター企画ツアーを3本催行し集客の相互協力を行うなど公社内の連携を強化しました。

開催日	事業名	定員	申込者	参加者	備考
4月2日(水) 4月3日(木)	お花見散歩まっぷ ツアー	各回 15名	15名 17名	14名 13名	お花見散歩まっぷ 武蔵関公園コースを 巡るツアー
5月9日(金) 5月14日(水)	富士見台散策ツアー	各回 15名	19名 13名	14名 9名	富士見台散策と ねりコレ店舗巡り
5月19日(月) 5月26日(月)	腸活ツアー	各回 10名	14名 10名	9名 6名	石神井公園内での ヨガと腸活ランチ
6月21日(土)AM 6月21日(土)PM	親子でパフェ作り 体験ツアー	各回 20名	53名 25名	20名 20名	小中学生と保護者対 象のプロの指導によ るパフェ作り
6月28日(土)AM 6月28日(土)PM 6月30日(月)AM 6月30日(月)PM	農の恵みと風景を 巡るツアー(南大 泉)	各回 15名	51名 8名 17名 11名	23名 8名 16名 11名	収穫体験 (夏野菜・ブルーベリ ー)
10月1日(水) 10月3日(金)	NEXCO 東日本東京 外環工事×白子川 調節池群見学ツア ー	各回 20名	82名 183名	20名 20名	東京外環工事現場と 白子川調節池群施設 のインフラ事業見学
10月22日(水) 10月24日(金)	ちひろ美術館・東 京&ベジファーム かのんでサツマイ モ掘り体験ツアー	各回 15名	25名 18名	16名 14名	解説ガイド付きの美 術館鑑賞とさつまい も収穫体験
11月6日(木) 11月7日(金) 11月8日(土) 11月10日(月)	キウイ狩りとホテ ルランチバイキン グツアー	各回 15名	103名 11名 155名 90名	15名 11名 12名 12名	光が丘エリア周辺の散 策、キウイ狩りおよびホ テルランチ
11月29日(土)AM 11月29日(土)PM	オリジナルリース 作り体験ツアー	各回 6組	12組 25名 5組 14名	5組 13名 6組 16名	小学生以下の子と保護 者対象の石神井公園 の自然素材で作るク リスマスリース作り
12月12日(金)AM 12月12日(金)PM 12月13日(土)AM 12月13日(土)PM	農の恵みと風景を 巡るツアー(高松)	各回 15名	9名 4名 50名 7名	11名 0名 9名 10名	収穫体験 (練馬大根、ブロッコ リー) <u>催行中止</u>

12月20日(土)AM 12月20日(土)PM	あんずの家で親子 クッキー作り体験 ツアー	各回 10組 20名	12組 25名 9組 20名	7組 15名 8組 18名	小学生以下の子と保護 者対象のプロの指導に よるお菓子作り
2月14日(土) 2月15日(日)	イチゴ狩り&イチ ゴパフェ作り体験 ツアー	各回 15名	51名 15名	13名 15名	高松周辺の散策とイチ ゴ狩りや摘みたてイチ ゴを使ったパフェ作り
3月26日(木)	ネオ染花・創作盆 裁体験ツアー	10組 20名	3組 10名	3組 10名	区手工芸作家連盟会 長指導による染花・ 創作盆栽制作体験

※ **ねりまファミリーパック会員限定ツアー**

④ 観光案内所の機能の見直し[補助金事業]

ねりコレ商品の情報や魅力の発信を目的に、区主催の練馬区観光案内所の在り方方針に基づき、ねりコレ2024商品の特徴や作り手の思いを伝えるツールとして、区主催の練馬区観光案内所の在り方方針から「商品紹介カード」を制作し、観光案内所（ねりま・石神井）で購入者等に配布しました（令和7年8月～令和8年3月末）。

カードは、観光案内所内の商品広告POPとしても活用し、お客様により商品の魅力が伝わるようディスプレイの統一化を図りました。

区民等に観光案内所をより身近に感じ、気軽に入りやすくなるような環境とするため、映像モニターの導入やねり丸による壁面装飾を施しました。

⑤ 観光事業への協賛・後援に関する事業【追加】[補助金事業]

観光イベント主催者からの依頼を受け、協賛（協力）、後援を行うとともにPR面での事業協力を行いました。

開催日	事業名	主催者	会場	種別
5月18日(日)	アニメプロジェクト In 大泉 2025	アニメプロジェクト in 大泉推進連絡会	大泉小学校、妙延寺、 大泉風致地区公園、 大泉図書館、 東映アニメーション ミュージアム	後援
5月18日(日)	井のいち 2025	井のいち実行委員会	石神井氷川神社	後援
8月3日(日)	ホテルカデンツァ 東京 ゆかた祭り	ホテルカデンツァ 東京	ホテルカデンツァ 東京	後援

10月16日(木) ～ 11月16日(日)	としまえんあたりの スタンプラリー・み ちくさまつり	としまえんあたりの 実行委員会	豊島園駅から練馬春 日町駅付近	後援
10月17日(金) ～19日(日)	ロハスフェスタ東京 2025	ロハスフェスタ実行 委員会	都立光が丘公園 芝生広場	後援
11月3日 (月・祝)	森のJ A Z Z祭 2025	森のJ A Z Z祭実行 委員会	都立石神井公園野外 ステージ	後援

(2) 観光案内所運営事業 [指定管理事業]

区内の観光情報や魅力の発信拠点として、区内観光スポット、イベントの紹介や「ねりコレ」など区内名産品の販売を行っています。

令和7年度は、ねりま観光案内所に隣接した産業イベントコーナーで実施された「ねりまママパパてらす子育て応援フェス 2026」の協賛企画として、購入者に子供用ねり丸マスクをプレゼントするなど、観光案内所やねりコレを周知する取組を実施しました。

① 観光案内所運営概況(令和7年度)

	ねりま観光案内所	石神井観光案内所
場所	区民・産業プラザ3階	石神井公園駅中央改札口そば
営業時間	9:00～21:00	9:00～19:00
営業日数	359日(359日)	359日(359日)
利用者	75,319人(76,789人) ※1日平均209.8人(214人) ※購入者数20,542人(20,689人) 購入率 27.3%(26.9%)	55,383人(52,391人) ※1日平均154.3人(146人) ※購入者数22,872人(21,293人) 購入率41.3%(40.6%)
売上	27,078,749円(26,204,025円) ※1日平均75,428円(72,992円) ※客単価1,318円(1,267円)	26,336,062円(23,271,094円) ※1日平均73,360円(64,822円) ※客単価1,151円(1,093円)

※ ()内は令和6年度実績

② 利用者アンケートの実施

両観光案内所の購入者を対象に、より良いサービスを提供していくことを目的として、利用者アンケートを実施しました。

実施期間

令和8年1月23日(金)から2月23日(月)まで(32日間)

実施方法

観光案内所での購入者を対象にアンケート用紙を手渡し、備え付けの回収ボックスへ投函、またはオンラインで回答する方法により実施しました。

回答数

ねりま観光案内所 321 件（前年度 316 件）

石神井観光案内所 446 件（前年度 231 件）

実施結果

- ・ 観光案内所の販売商品について、「区の特徴があって良い」、「お土産商品が選べて嬉しい」など約 8 割の方が好意的な回答でした。
- ・ スタッフの接遇について、「大変良い」、「良い」とする回答が、両案内所ともに 95%以上でした。
- ・ 利用者の在住地域、年齢層や目的などの属性も把握しており、今後の運営の基礎データとして活用します。

③ イベント出展

練馬の魅力を区内外に発信するため、各イベントに出展し、ねり丸グッズ、ねりコレ商品等の販売や観光パンフレットの配布等、練馬区の観光 PR を行いました。

開催日	イベント名	会場
4 月 20 日(日)	第 38 回照姫まつり	都立石神井公園および周辺
5 月 18 日(日)	アニメプロジェクト in 大泉 2025	大泉小学校、妙延寺等
8 月 2 日(土)	夏休み！ねりま環境まなびフェスタ 2025	ココネリ 3 階
10 月 19 日(日)	第 48 回練馬まつり	練馬駅北口 ほか
11 月 15 日(土)・ 16 日(日)	全国都市農業フェスティバル 2025	都立光が丘公園、区立光が丘体育館ほか
1 月 7 日(水)	賀詞交換会	区立光が丘体育館
3 月 22 日(日)	練馬こぶしハーフマラソン	都立光が丘公園 ほか

5 社員総会および理事会の開催、監査の実施ならびに共済事業運営委員会の開催
定款の規定に基づき開催した社員総会および理事会は、各議案についてすべて
可決および承認されました。

また、令和6年度一般会計に係る決算について監査を行いました。

(1)社員総会の開催状況

回 数	開催日	議案等	
第1回	令和7年5月22日	議案第1号 議案第2号 報告 その他	令和6年度事業報告および決算報告 ならびに監査報告 役員の選任 (1)理事長、副理事長および常務理事の 職務の執行状況 (2)経営計画の取組、達成状況の評価 今後の日程
第2回	令和7年11月19日	議案第3号 報告 その他	令和7年度予算の補正（第1回） (1)令和7年度上半期事業報告および 収支状況 (2)理事長、副理事長および常務理事の 職務の執行状況 今後の日程
第3回	令和8年3月24日	議案第4号 議案第5号 報告 その他	令和7年度予算の補正（第2回） 令和8年度事業計画および収支予算 (1)規程の一部改正 (2)アンケート集計結果 今後の日程

(2) 理事会の開催状況

回 数	開催日	議案等	
第1回	令和7年5月15日	議案第1号 議案第2号 議案第3号 報告 その他	令和6年度事業報告および決算報告 ならびに監査報告 役員の選任について令和7年度第1回 社員総会の付議事項とすること 令和7年度第2回社員総会の開催 (1)理事長、副理事長および常務理事の 職務の執行状況 (2)経営計画の取組、達成状況の評価 今後の日程

第2回 (書面表決)	令和7年5月22日	議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号	理事長の選出 副理事長の選出 常務理事の選出 役員に関する規程の改定
第3回	令和7年11月12日	議案第8号 議案第9号 報告 その他	令和7年度予算の補正(第1回) 令和7年度第3回社員総会の開催 (1)令和7年度上半期事業報告および 収支状況 (2)理事長、副理事長および常務理事の 職務の執行状況 今後の日程
第4回	令和8年3月18日	議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 報告 その他	令和7年度予算の補正(第2回) 職員の育児休業・介護休業等に関する 規程の一部改正 職員の給与に関する規程の一部改正 財務規程の一部改正 令和8年度事業計画および収支予算 令和8年度第1回社員総会の開催 アンケート集計結果 今後の日程

(3) 監査の実施状況

開催日	監査内容
令和7年5月9日	令和6年度一般会計に係る決算に伴い、監事が令和6年度の事業執行状況および会計処理全般の監査を実施しました。

(4) 共済事業運営委員会の開催状況

回数	開催日	内 容
第1回	令和7年5月13日	報告 (1)令和6年度勤労者福祉共済事業事業報告および収支決算 (2)令和7年度勤労者福祉共済事業事業計画および収支予算 (3)令和7年度第1回会員加入促進キャンペーン (4)その他
第2回	令和7年11月5日	報告 (1)令和7年度上半期勤労者福祉共済事業事業報告および 収支状況 (2)令和7年度第2回会員加入促進キャンペーン (3)その他

Ⅲ 令和 7 年度決算報告書

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	110,347,877	95,492,115	14,855,762
未収金	2,735,556	1,785,808	949,748
前払金	360,200	1,571,660	△1,211,460
棚卸資産	13,931,774	15,646,863	△1,715,089
売掛金	1,233,800	0	1,233,800
流動資産合計	128,609,207	114,496,446	14,112,761
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	45,643,087	40,562,112	5,080,975
事業運営基金積立資産	160,465,976	150,687,135	9,778,841
特定資産合計	206,109,063	191,249,247	14,859,816
(2) その他固定資産			
リース資産	17,482,403	29,137,337	△11,654,934
出資金	30,000	30,000	0
保証金	150,000	150,000	0
その他固定資産合計	17,662,403	29,317,337	△11,654,934
固定資産合計	223,771,466	220,566,584	3,204,882
資産合計(A)	352,380,673	335,063,030	17,317,643
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	87,336,210	73,089,983	14,246,227
前受金	8,773,810	13,048,780	△4,274,970
預り金	1,033,620	1,330,352	△296,732
短期リース債務	11,921,138	11,741,075	180,063
賞与引当金	14,082,504	11,207,874	2,874,630
流動負債合計	123,147,282	110,418,064	12,729,218
2. 固定負債			
退職給付引当金	44,391,749	40,562,112	3,829,637
長期リース債務	6,028,996	17,950,134	△11,921,138
固定負債合計	50,420,745	58,512,246	△8,091,501
負債合計(B)	173,568,027	168,930,310	4,637,717
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	90,500,000	90,500,000	0
(うち特定資産への充当額)	(90,500,000)	(90,500,000)	(0)
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	88,312,646	75,632,720	12,679,926
(うち特定資産への充当額)	(88,312,646)	(75,632,720)	(12,679,926)
正味財産合計(C)	178,812,646	166,132,720	12,679,926
負債及び正味財産合計(B) + (C)	352,380,673	335,063,030	17,317,643

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収入	[394,044,550]	[371,955,270]	[22,089,280]
共済事業収入	(171,032,290)	(177,180,450)	(△6,148,160)
会費・入会金収入	54,075,000	56,428,100	△2,353,100
生活充実事業収入	61,331,100	68,934,100	△7,603,000
健康増進事業収入	15,781,900	16,269,500	△487,600
自己啓発事業収入	22,188,290	17,409,650	4,778,640
余暇活動事業収入	17,656,000	18,139,100	△483,100
指定管理業務収入	(223,012,260)	(194,774,820)	(28,237,440)
受託収入	186,412,000	161,451,000	24,961,000
利用料収入	36,600,260	33,323,820	3,276,440
受取補助金	[305,944,381]	[299,364,516]	[6,579,865]
区補助金収入	(305,944,381)	(296,364,516)	(9,579,865)
その他補助金収入	0	(3,000,000)	(△3,000,000)
雑収入	[20,445,511]	[14,695,065]	[5,750,446]
受取利息	633,759	223,162	410,597
広告料収入	1,681,851	1,158,198	523,653
手数料収入	5,067,240	4,824,913	242,327
受講料収入	3,283,000	2,588,000	695,000
雑収入	5,126,064	1,146,554	3,979,510
物産販売収入	4,653,597	4,754,238	△100,641
経常収益計	720,434,442	686,014,851	34,419,591
(2) 経常費用			
事業費	[463,362,730]	[454,058,548]	[9,304,182]
共済事業費	(169,132,399)	(178,785,511)	(△9,653,112)
生活充実事業費	84,189,695	98,272,057	△14,082,362
健康増進事業費	25,645,973	26,637,928	△991,955
自己啓発事業費	23,732,471	19,106,398	4,626,073
余暇活動事業費	24,063,206	24,445,165	△381,959
会報等発行費	7,140,490	5,463,227	1,677,263
会員加入促進費	2,032,464	2,834,481	△802,017
消耗品費	67,757	75,839	△8,082
印刷製本費	1,478,716	1,142,944	335,772
通信運搬費	657,544	702,472	△44,928
租税公課	1,000	0	1,000
雑費	123,083	105,000	18,083
ビジネスサポートセンター費	(113,177,918)	(100,434,286)	(12,743,632)
経営相談事業費	38,886,918	34,887,409	3,999,509
中小企業支援事業費	74,291,000	65,546,877	8,744,123
区民・産業プラザ維持運営費	(109,263,597)	(96,924,279)	(12,339,318)
施設運営費	30,809,359	26,439,190	4,370,169
施設維持管理費	78,454,238	70,485,089	7,969,149
観光振興費	(71,788,816)	(77,914,472)	(△6,125,656)
観光事業推進費	32,747,720	42,006,259	△9,258,539
観光案内所運営費	39,041,096	35,908,213	3,132,883
期首棚卸資産	[15,646,863]	[10,963,093]	[4,683,770]
期末棚卸資産	[△13,931,774]	[△15,646,863]	[1,715,089]

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	[242,676,697]	[236,219,991]	[6,456,706]
管理人件費	(184,307,347)	(176,906,432)	(7,400,915)
報酬	10,986,317	19,391,493	△8,405,176
給料手当	126,920,368	116,384,628	10,535,740
共済費	27,237,183	26,489,608	747,575
退職給付費用	5,080,975	3,432,829	1,648,146
賞与引当金繰入額	14,082,504	11,207,874	2,874,630
管理運営費	(58,369,350)	(59,313,559)	(△944,209)
役員報酬	210,000	371,000	△161,000
健康診断料	512,106	569,258	△57,152
研修費	791,663	455,708	335,955
旅費交通費	176,146	155,617	20,529
消耗品費	1,148,567	911,000	237,567
印刷製本費	71,060	375,650	△304,590
光熱水費	693,664	717,215	△23,551
通信運搬費	2,181,945	2,214,936	△32,991
減価償却費	11,654,934	11,654,934	0
支払手数料	2,063,672	1,739,963	323,709
委託料	18,525,650	17,790,238	735,412
利用料および賃借料	370,262	341,880	28,382
保険料	284,970	0	284,970
システム経費	12,639,086	10,561,921	2,077,165
備品費	0	120,700	△120,700
租税公課	6,185,203	10,514,974	△4,329,771
支払利息	272,189	402,357	△130,168
社員費用弁償	90,000	0	90,000
雑費	498,233	416,208	82,025
経常費用計	707,754,516	685,594,769	22,159,747
当期経常増減額	12,679,926	420,082	12,259,844
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
他会計振替額	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	12,679,926	420,082	12,259,844
一般正味財産期首残高	75,632,720	75,212,638	420,082
一般正味財産期末残高	88,312,646	75,632,720	12,679,926
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	90,500,000	90,500,000	0
基金期末残高	90,500,000	90,500,000	0
IV 正味財産期末残高	178,812,646	166,132,720	12,679,926